SONY®

4-265-635-**03**(1)

デジタル
スチルカメラ

取扱説明書

MEMORY STICK ™

AVCHD HDMI
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

⚠警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Cyber-shot

DSC-TX10

⚠警告 安全のために

→ *88～91ページも あわせてお読みください。*

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら煙が出たら	➡	❶ 電源を切る ❷ 電池をはずす ❸ ソニーの相談窓口に連絡する

裏表紙に**ソニーの相談窓口の連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。

❷ 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。

❸ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。

❹ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

お使いになる前に必ずお読みください

表示言語について

本機では、日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

内蔵メモリーおよびメモリーカードのバックアップについて

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、バッテリーやメモリーカードを取り出したりすると、内蔵メモリーのデータやメモリーカードのデータが壊れることがあります。データ保護のため必ずバックアップをお取りください。

本機搭載の機能について

- 本機は1080 60i対応機です。
- 本機で撮影した3D画像を3D対応モニターでご覧になる場合、長時間見ないようご注意ください。
- 本機で撮影した3D画像を3D対応モニターでご覧になる場合、目の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。
  3D画像を視聴するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。不快な症状が出たときは、回復するまで3D画像の視聴をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。
  本機に接続する機器やソフトウェアの取扱説明書もあわせてご覧ください。
  なお、お子さま（特に6歳未満の子）の視覚は発達段階にあります。お子さまが3D画像を視聴する前に、小児科や眼科などの医師にご相談ください。大人のかたは、お子さまが上記注意点を守るよう監督してください。

管理ファイル作成について

管理ファイルが作成されていないメモリーカードを本機に挿入し電源を入れると、メモリーカードの一部の容量を使って自動的に管理ファイルを作成します。次の操作まで時間がかかることがあります。

録画・再生に際してのご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。
  フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 長期間、画像の撮影・消去を繰り返しているとメモリーカード内のファイルが断片化（フラグメンテーション）して、動画記録が途中で停止してしまう場合があります。このような場合は、パソコンなどに画像を保存したあと、「フォーマット」（71ページ）を行ってください。
- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。

- 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください(84ページ)。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。発光による熱でフラッシュ表面の汚れが変色したり、貼り付いたりすると、充分に発光できない場合があります。

画面についてのご注意

- 画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- 画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、画面の故障の原因になります。
- 手袋をしていると反応しないことがあります。

ソニー製純正アクセサリーをお使いください

純正品以外のアクセサリーをお使いになると、故障の原因になることがあります。

- 純正品以外のマグネット付きケースは、電源誤作動を起こす場合があります。

本機の温度について

本機を連続して使用した場合、本体やバッテリーの温度が高くなりますが、故障ではありません。

温度保護機能について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる場合は、切れる前に画面にメッセージが表示されます。撮影ができなくなった場合は、画面にメッセージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。充分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。

バッテリーの充電について

長時間使用していないバッテリーを充電すると、適正容量まで充電できないことがまれに発生します。これはバッテリー特性によるものであり、故障ではありません。もう一度充電してください。

画像の互換性について

- 本機は、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格"Design rule for Camera File system"(DCF)に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

AVCHD動画のパソコンへの取り込みについて

AVCHD方式で記録した動画をパソコンに取り込むときは、Windowsの場合はCD-ROM(付属)に収録されているソフトウェア「PMB」を使用してください。

他機での動画再生に際してのご注意

- 本機は、AVCHD方式の記録にMPEG-4 AVC/H.264のHigh Profileを採用しております。このため、本機でAVCHD方式で記録した動画は次の機器では再生できません。
  - High Profileに対応していない他のAVCHD規格対応機器
  - AVCHD規格非対応の機器

  また、本機は、MP4方式の記録にMPEG-4 AVC/H.264のMain Profileを採用しております。このため、本機でMP4方式で記録した動画はMPEG-4 AVC/H.264の対応機器以外では再生できません。
- ハイビジョン画質(HD)で記録したディスクはAVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。

  DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質(HD)で記録したディスクを再生できません。また、これらの機器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質(HD)のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

撮影内容の補償はできません

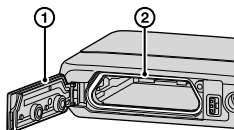
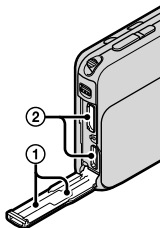
万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

防水/防塵・耐衝撃性能について

本機は防水/防塵性能、耐衝撃性能を備えていますが、誤った使いかたによる故障は保証の対象外になります。

- JIS保護等級IP58相当の防水/防塵性能があります。水深5 m/60分までの撮影が可能です。
- 高い水圧がかかることがあるため、水道などからの勢いのある水を、直接あてないでください。
- 温泉で使用しないでください。
- 推奨動作温度－10℃から+40℃の水温でご使用ください。
- MIL-STD 810F Method 516.5-Shock に準拠した厚さ5 cmの合板上での1.5 mからの落下テストをクリアしています。*
  - * すべての状態において、無破損・無故障・防水性能を保証するものではありません。
- 防塵・耐衝撃性能については、傷やへこみがつかないことを保証するものではありません。
- 落下などの強い衝撃を与えた場合は、防水性能を保証しません。修理相談窓口での点検をおすすめします（有料）。
- 付属品は防水/防塵・耐衝撃仕様ではありません。

水中・水辺で使用する前のご注意

- 砂、髪の毛、ほこりなどの異物を、バッテリー /メモリーカードカバー、端子カバーに挟み込まないようにしてください。わずかな異物でも浸水の原因となります。
- 防水パッキン、防水パッキンの当たる面に傷がついていないことを確認してください。わずかな傷でも浸水の原因になります。傷がついてしまった場合は、修理相談窓口にご相談いただき、防水パッキンを交換してください（有料）。

① 防水パッキン
② 防水パッキンの当たる面

- 防水パッキン、防水パッキンの当たる面にゴミや砂がついているときは、繊維の残らない柔らかい布等で拭き取ってください。バッテリー充電時やケーブル使用時に、防水パッキンに触れて傷をつけないようにしてください。

- 水辺での使用中や、手に水や砂がついているときは、絶対にバッテリー /メモリーカードカバー、端子カバーの開け閉めをしないでください。水や砂が本機の中に入って故障の原因となります。カバーを開ける前に必ず、「水中・水辺で使用した後のお手入れ」を行ってください。
- 完全に乾いた状態でカバーを開けてください。
- 必ずバッテリー /メモリーカードカバー、端子カバーが確実にロックされていることを確認してください。

水中・水辺で使用中のご注意

- 画面上のアイコンに水滴がかかるとタッチパネルが反応する場合があります、水辺での撮影時は、画面右側の をタッチして画面のアイコンを非表示にすることをおすすめします。もう一度アイコンを表示するには を長押ししてください。
- 水中ではタッチパネルを使用できません。撮影や再生は本機のボタンで操作を行ってください。
- 水中に飛び込むなど、カメラに衝撃を与えないでください。
- 水中・水辺で、バッテリー /メモリーカードカバー、端子カバーの開け閉めを行わないでください。
- 水深5 mを超えるときは、別売のハウジング(マリンパック)を使用してください。
- 本機は水中で沈みます。水没防止のためにリストストラップをご使用ください。
- 水中でのフラッシュ撮影時、浮遊物に反射してぼんやりとした白く丸い点が発生することがあります。故障ではありません。
- 水中での撮影時に画像の歪みが気になる場合は、シーンセレクションで (水中)モードに設定してください(43ページ)。
- レンズに水滴等がついていると、きれいに撮影できないことがあります。
- 砂が舞っている水中では、レンズカバーの開閉はしないでください。

水中・水辺で使用した後のお手入れ

- 使用後は60分以内で、バッテリー /メモリーカードカバー、端子カバーを開ける前に必ず水洗いしてください。見えないところに水や砂が入り込んでいることがあり、塩、砂等を付着したままにしておくと防水性能が劣化します。
- 容器にためた真水に5分程度つけ置いてから、水の中で本体を揺すったり、各ボタンやズームレバー、レンズカバーを動かして、ボタンやレンズカバーのすきまに入った塩、砂等をしっかりと洗い流してください。

- 洗ったあと、柔らかい布で水滴を拭き取り、風通しの良い日陰で充分に乾かしてください。ドライヤーの熱風で乾燥させると、変形により、防水性能が劣化するおそれがあるため行わないでください。
- バッテリー／メモリーカードカバー、端子カバーの内側に水滴や異物が残っていたら、やわらかい乾いた布でふき取ってください。

- 本機は水抜き構造となっており、電源ボタンやズームレバーなどのすきまに入った水が外に出てきます。水につけたあとは、しばらく乾いた布の上に本機を立てて置き、水を抜いてください。
- 水につけた際には泡が出ることがありますが、故障ではありません。
- 日焼け止めやサンオイルが付着すると、カメラの表面が変色することがあります。付着させてしまった場合は速やかに拭き取ってください。
- 塩水に浸した状態や塩水が付着した状態で放置しないでください。腐食や変色、防水性能の劣化の原因になります。
- 防水性能を維持するために、1年に1回はお買い上げ時の販売店か修理相談窓口にご相談いただき、バッテリー /メモリーカードカバー、端子カバーの防水パッキンを交換することをおすすめします（有料）。

画面に表示されるメッセージについて

バッテリーやメモリーカードを交換すると、本体画面上に、下記のようなメッセージが、毎回*表示されます。

**"水中・水辺でご使用の際は
矢印のカバー部に異物・破損が無いことを確認ししっかりと閉めてから
[OK]を押してください"**

これは、本体の異常を意味するメッセージではありません。

防水機能を保つ上でご使用前にご確認いただきたい内容を表示しております。

メッセージの表示されているエリアをタッチして、メッセージを消してからご使用ください。

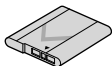
* 再生モードでは表示されません。

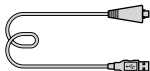
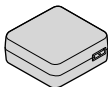
目次

その他 …… 72

付属品を確認する

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

- リチャージャブルバッテリーパックNP-BN1（1）

- ペイントペン（1）

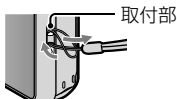
- マルチ端子専用USBケーブル（1）

- ACアダプター AC-UB10/UB10B（1）

- リストストラップ(1)

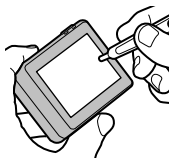
- CD-ROM（1）
  - サイバーショットアプリケーションソフトウェア
  - 「サイバーショットユーザーガイド」
- 防水に関するご注意(1)
- 取扱説明書(本書)(1)
- 保証書(1)

ご注意

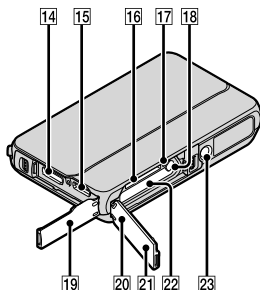
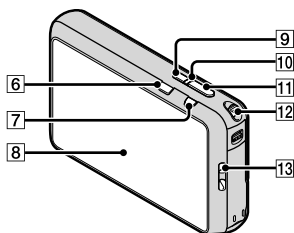
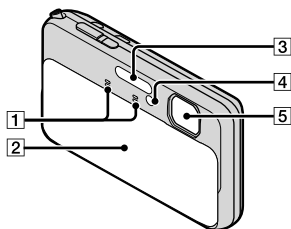
- 付属品は防水/防塵・耐衝撃仕様ではありません。

リストストラップを使う

落下防止、水没防止のため、ストラップを取り付け、手を通してご使用ください。

ペイントペンを使う

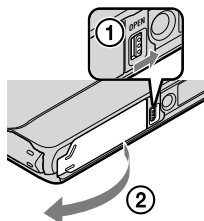
タッチパネルを操作するときに使います。リストストラップに取り付けて使えます。使用時は先端を握らないでください。

ご注意

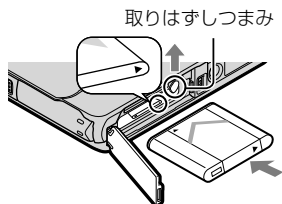
- ペイントペンを持って、本機を持ち運ばないでください。本機が落下するおそれがあります。
- 付属のペイントペン以外で操作を行わないでください。誤動作の原因となります。

各部の名前を確認する

1 マイク
2 レンズカバー
3 フラッシュ
4 セルフタイマーランプ/スマイルシャッターランプ/AF補助光
5 レンズ
6 ▶(再生)ボタン
7 MOVIE(ムービー)(動画)ボタン
8 画面/タッチパネル
9 ON/OFF(オン/オフ)(電源)ボタン
10 ON/OFF(オン/オフ)(電源/充電)ランプ
11 シャッターボタン
12 W/T(ズーム)レバー
13 リストストラップ取り付け部
14 HDMI端子
15 マルチ端子(Type3b)
16 メモリーカード挿入口
17 アクセスランプ
18 取りはずしつまみ
19 端子カバー
20 バッテリー/メモリーカードカバー
21 (TransferJet™)(トランスファージェット)マーク
22 バッテリー挿入口
23 三脚用ネジ穴
- ネジの長さが5.5mm未満の三脚を使う。5.5mm以上の三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

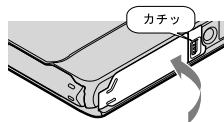
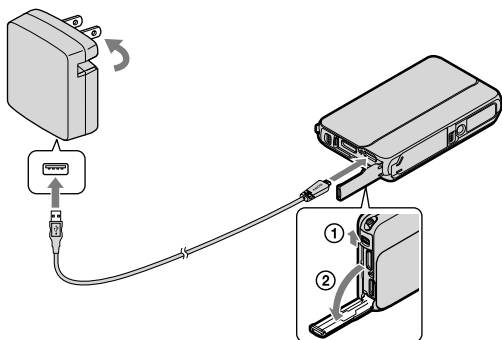
準備する

バッテリー充電と使用可能枚数・時間

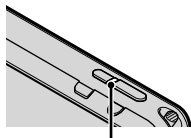
1　カバーを開ける。

2　バッテリーを入れる。

バッテリーをバッテリー挿入口の中にあるイラストに合わせて、取りはずしつまみがロックするまで押し込む。

3　カバーを閉じる。

カバーのつまみの、黄色いマークが見えなくなるまでしっかりと閉じる。

- カバー内に砂などの異物を挟み込むと、防水パッキンが傷つき浸水の原因になります(6ページ)。

4 端子カバーを開けて、本機とACアダプター（付属）をマルチ端子専用USBケーブル（付属）でつなぐ。

5 ACアダプターをコンセントに取り付ける

電源/充電ランプがオレンジ色に点灯し、充電が始まる。

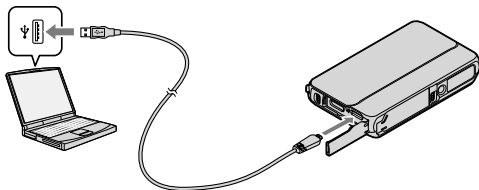
- 本機の電源を切った状態にしておいてください。
- 残量があるバッテリーも充電できます。
- ランプが点滅し充電が完了しなかった場合は、一度バッテリーを取り外し、再度装着してください。

点灯：充電中
消灯：充電終了
点滅：充電エラー

ご注意

- 端子カバーを閉じるときは、つまみの黄色いマークが見えなくなるまでしっかりと閉じてください。
- ACアダプターをコンセントにつないでも本体のランプが点灯しない場合は、充電に適した温度範囲外にあるため一時待機状態になっています。充電に適した温度範囲に戻れば充電可能です。バッテリーの充電は周囲の温度が10℃～30℃の環境で行ってください。
- 付属のACアダプターを取り付けるときは、お手近なコンセントをお使いください。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電が終わったら、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 必ずソニー製純正のバッテリー、付属のマルチ端子専用USBケーブル、ACアダプターをお使いください。

パソコンに接続して充電する

マルチ端子専用USBケーブルを使って、パソコンからの充電も可能です。

ご注意

- パソコンから充電するときは、以下の点にもご注意ください。
  - 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンの電池が消耗していきます。そのまま長時間放置しないでください。
  - 本機をUSB接続したままパソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。本体が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから本機を取りはずしてから行ってください。
  - 自作のパソコンや改造したパソコンでの充電は保証できません。

充電にかかる時間

充電にかかる時間は、付属のACアダプターで約210分です。

ご注意

- バッテリー（付属）を使い切ってから、温度25 ℃の環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。

バッテリーの使用時間と撮影/再生枚数

	使用時間	枚数
静止画撮影	約125分	約250枚
静止画再生	約190分	約3800枚
動画撮影	約60分	—

ご注意

- 撮影枚数は満充電された状態での目安の枚数です。使用方法で枚数は減少する場合があります。
- 以下の条件で撮影した場合です。
  - 当社製の"メモリースティック PRO デュオ"（Mark2）（別売）を使用
  - 温度25℃の環境
- 静止画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。（CIPA：カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association）
  - ［パネル明るさ］：［3］
  - 30秒ごとに1回撮影
  - 1回ごとにズームをW側、T側に交互にいっぱいにする。
  - 2回に一度、フラッシュを発光する。
  - 10回に一度、電源を入/切する。
- 動画撮影時の数値は、以下の条件で撮影した場合です。
  - 動画画質：AVCHD HQ
  - 連続撮影の制限（73ページ）により撮影が終了したときは、再度MOVIE（動画）ボタンを押して撮影を続ける。ズームなどその他の操作はしない。

バッテリーの残量を確認する

画面に、バッテリー残量を表すアイコンが表示されます。

多 → なし

ご注意

- 正しい残量を表示するのに約1分かかります。
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- [パワーセーブ]設定が[標準]または[スタミナ]のときに電源を入れたまま一定時間操作しないと、画面が暗くなり、その後自動で電源が切れます(オートパワーオフ)。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショート等を防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋などに入れて金属から離してください。

バッテリーについて

バッテリーの消費や使用可能時間については81、85ページでも詳しく説明しています。

電源を供給する

マルチ端子専用USBケーブル(付属)では、ACアダプターと接続してコンセントから電源の供給ができます。

パソコンと接続すると、パソコンに画像に取り込む時でもバッテリーの消費を心配せずに使用できます。

ご注意

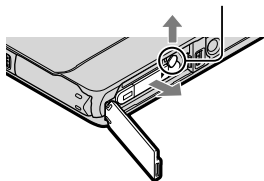
- バッテリーが本機に入っていないと電源の給電ができません。
- 再生時やパソコン接続時のみ有効です。撮影時や本機の設定変更時は、マルチ端子専用USBケーブルで接続していても給電されません。
- 再生中にマルチ端子専用USBケーブルを使ってパソコン接続すると、再生画面からUSB接続画面に変わります。再生ボタンを押すと再生画面に変わります。

海外でも使えます

ACアダプター（付属)は全世界で使用できます(AC100 V ～ 240 V、50 Hz/60 Hz)。ただし、地域によってはコンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプターが必要です。お出かけ前に、旅行代理店などで訪問先のコンセントの形状を確認し、必要に応じてご用意ください。

電子式変圧器(トラベルコンバーター)は使用できません。故障の原因になります。

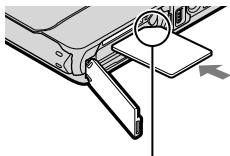
コンセント形状例	地域	変換プラグアダプター
	主に北米	不要
	主にヨーロッパ	必要

バッテリーを取り出す

取りはずしつまみをずらす。バッテリーが落下しないように注意する。

メモリーカード(別売)を入れる

1 カバーを開ける(14ページ)。

2 メモリーカード(別売)を入れる。

切り欠き部をイラストの向きにして、カチッというまで押し込む。

切り欠きの向きに注意する

3 カバーを閉じる(14ページ)。

- 正しく挿入しないままカバーを閉めると、破損のおそれがあります。

使用できるメモリーカード

本機で使用できるメモリーカードは、以下の通りです。ただし、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

対応メモリーカード	静止画	動画	本書での表現
メモリースティック PRO デュオ	○	○(Mark2のみ)	メモリースティック デュオ
メモリースティック PRO-HG デュオ	○	○	
メモリースティック デュオ	○	×	
SDメモリーカード	○	○(Class 4以上)	SDカード
SDHCメモリーカード	○	○(Class 4以上)	
SDXCメモリーカード	○	○(Class 4以上)	

- マルチメディアカードは使用できません。

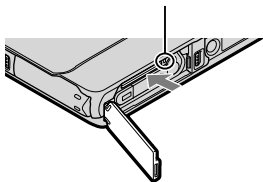
記録できる枚数/時間については、72 ~ 73ページをご覧ください。

ご注意

- 本機は−10℃から+40℃の動作保証をしておりますが、メモリーカードの種類によっては、動作保証温度が異なる場合があります。詳しくはメモリーカードの取扱説明書をお読みください。
- SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFATに対応していないパソコンやAV機器などに、本機とマルチ端子専用USBケーブルで接続して取り込んだり再生することはできません。接続する機器がexFATに対応しているかを事前にご確認ください。対応していない機器に接続した場合、フォーマット(初期化)を促す表示がされる場合がありますが、決して実行しないでください。内容が全て失われます。(exFATは、SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステムです。)

メモリーカードを取り出す

アクセスランプ

アクセスランプが消えていることを確認して、メモリーカードを押す。

ご注意

- アクセスランプ点灯中は、メモリーカード/バッテリーを取り出さないでください。データやメモリーカードが壊れることがあります。

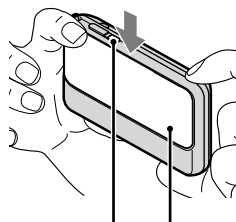
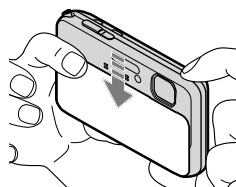
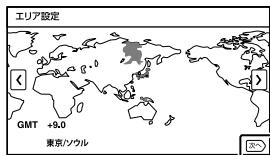
メモリーカードを入れていないときは

本体に内蔵されているメモリー（約19MB）に画像が記録されます。
内蔵メモリーの画像をメモリーカードにコピーする場合は、本機にメモリーカードを入れ、MENU → (設定) → (メモリーカードツール) → [コピー]を選びます。

日時と画面の色を設定する

1 レンズカバーを下げる。

電源が入る。電源ランプは起動時のみ緑色に点灯します。

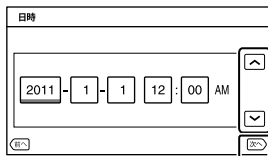
- ON/OFF（電源）ボタンを押しても電源が入る。
- 電源を入れたとき、操作ができるまでに時間がかかることがある。

2 [東京/ソウル]が選ばれていることを確認し、[次へ]をタッチする。

3 サマータイムの[入]、[切]を選び、[次へ]をタッチする。

- 日本では、サマータイムは[切]にする。

4 希望の日付表示形式を選び、[次へ]をタッチする。

準備する

5 設定する項目を選び、▲/▼で数値を設定し、[次へ]をタッチする。

- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMとなる。

6 [OK]をタッチする。

7 画面の指示に従って希望の画面カラーを選び[OK]をタッチする。

8 カメラ内ガイド紹介メッセージが出るので、[OK]をタッチする（78ページ）。

9 防水に関するご注意を読み、[OK]をタッチする。

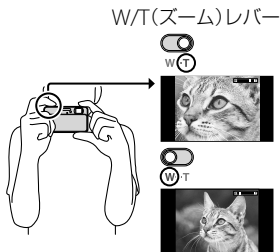
日付と時刻を合わせ直す

はじめて電源を入れたときのみ、自動で日時設定画面が開きます。日時を合わせ直すときは、MENU → （設定）→ （時計設定）→ [日時設定] を選び、日時設定画面を開いてください（71ページ）。

撮る(静止画)

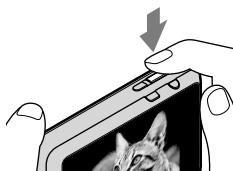
1 レンズカバーを下げる(23ページ)。

2 脇を締めて構え、構図を決める。

- W/T(ズーム)レバーをT側へ動かすとズームし、W側へ動かすと戻る。

3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

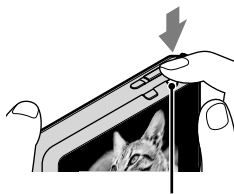
ピントが合うと「ピピッ」という音がして●が点灯する。

- ピントが合う最短距離はレンズ先端からW側約1 cm、T側約50 cm。

4 シャッターボタンを深く押し込む。

撮る(動画)

1 レンズカバーを下げる(23ページ)。

2 MOVIE(動画)ボタンを押して、撮影を開始する。

- W/T(ズーム)レバーをT側へ動かすとズームし、W側へ動かすと戻る。

MOVIE(動画)ボタン

3 もう一度MOVIEボタンを押して、終了する。

ご注意

- 動画記録中にズームを操作すると、レンズの動作音、レバーの操作音が記録されます。また、動画終了時、MOVIEボタンの操作音が記録されることがあります。
- 連続撮影可能時間は約25℃で出荷時設定の場合、1回につき約29分です。
撮影が終わってしまったら、もう一度MOVIEボタンを押すと撮影を再開できます。撮影環境温度によっては、機器保護のため停止する場合があります(4ページ)。

動画記録方式を変更する

MENU → (設定) → (撮影設定) → [動画記録方式]を選ぶ(69ページ)。

動画を撮りながら静止画を撮る(デュアル記録)

動画撮影中にシャッターボタンを押すと、動画撮影を中断することなく静止画も撮影できます。
1回の動画撮影で10枚まで撮影可能です。

ご注意

- シャッターボタンの操作音が記録されることがあります。
- 静止画の画像サイズは[16:9(3M)]で固定されます。ただし、動画の画像サイズが[MP4 3M]の時は[4:3(2M)]で固定されます。
- スマイルシャッターが設定されているときは、笑顔を感知すると自動でシャッターが切れます。
- フラッシュ撮影はできません。

見る

1 ▶（再生）ボタンを押す。

- 他機で撮影したメモリーカードの画像を再生すると、管理ファイル登録画面が表示される。

▶（再生）ボタン

次の画像/前の画像を選ぶ

画面の▶I（次）/I◀（前）をタッチする。

- 動画を再生するには画面中央の▶（再生）をタッチする。
- ズームするには静止画をタッチする。

削除する

🗑（削除）→［この画像］の順にタッチする。

撮影に戻る

画面右下の📷をタッチする。

- シャッターボタンを半押ししても撮影に戻る。

電源を切る

レンズカバーを閉じる。

- ON/OFF（電源）ボタンを押しても電源が切れる。

静止画の撮影モードを変える

状況や目的に合わせた撮影モードを選べます。

1 i◘（撮影モード）→ 好みのモードの順にタッチする

i◘（おまかせオート撮影）：自動設定で撮影できる。

i◘+（プレミアムおまかせオート撮影）：おまかせオート撮影よりも高画質な画像を自動設定で撮影できる。

i▭SCN（パノラマ撮影シーン）：画像を合成してパノラマ画像を撮影できる。

目目（動画撮影）：動画撮影に関するモードの変更ができる。

P（プログラムオート撮影）：露出（シャッタースピードと絞り）は本機が自動設定する。

メニューで多彩な機能を設定できる。

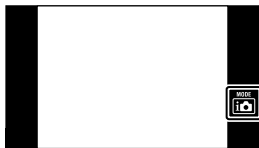
（背景ぼかし）：背景をぼかして被写体を際立たせた画像を撮影できる。

SCN（シーンセレクション）：あらかじめ、撮影状況に合わせて用意された設定で撮影できる。

3D（3D撮影）：画像を合成して3D画像を撮影できる。

- 別の撮影モードにするには、もう一度撮影モードから好みのモードを選ぶ。

ご注意

- 撮影モードによっては、水中で効果が得にくいことがあります。

状況を自動判別して撮る

撮影モードを(おまかせオート撮影)、(プレミアムおまかせオート撮影)、(動画撮影)にすると、自動でシーンを認識して最適な設定で撮影します。

- (動画撮影)の場合は、MENU → (動画撮影シーン) → (おまかせオート撮影)を選択してください。

---

1 (撮影モード) → (おまかせオート撮影)をタッチする。

---

2 被写体にカメラを向ける。

認識されたシーンのマークが画面に表示される。

上段：(人物)、(赤ちゃん)、(夜景&人物)、(夜景)、(逆光&人物)、(逆光)、(風景)、(マクロ)、(拡大鏡)、(スポットライト)、(低照度)

下段：(三脚)、(動き)

シーン認識マークとガイド（ガイドは上段のみ）

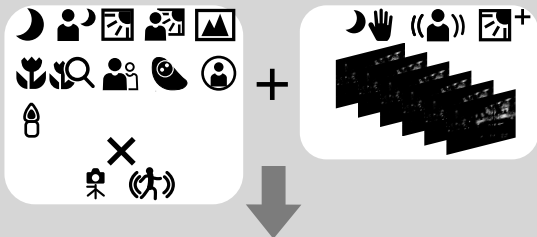
---

3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、撮影する。

さらに高画質に自動で撮る（プレミアムおまかせオート）

（おまかせオート撮影）よりも高画質な画像を本機が自動的に撮影状況を認識して撮影します。

（撮影モード）を（プレミアムおまかせオート）にしてください。

- （おまかせオート撮影）よりも撮影と記録処理に時間がかかります。
- シーン認識も行います。

認識したシーンに最適な枚数の重ね合わせ処理（最大6枚撮影）を自動選択し、より高画質な画像に仕上げます。

アドバンスモードについて

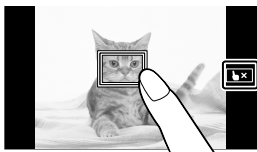
MENU → （おまかせシーン認識） → （アドバンス）をタッチします。

[アドバンス]では、失敗しがちな（夜景）、（夜景&人物）、（逆光）、（逆光&人物）を認識したときと、（夜景）と（三脚）を同時に認識したときは設定を変えて、効果の異なる2枚の画像を撮影します。

被写体にピントを合わせ続けて撮る（追尾フォーカス）

被写体が動いても、シャッターボタンを半押しするまで自動でピントを合わせ続けます。シャッターボタンを半押しすると、被写体の位置、ピント、露出を確定します。

1 被写体に本機を向け、ピントを合わせたいところをタッチする。

- 半押ししてピントを合わせる前なら、何度でもやり直しできる。
- ピント合わせを解除したいときは、×をタッチする。

ご注意

- 水中では使用できません。

優先したい顔を登録する（選択顔記憶）

顔検出中に追尾フォーカスを行うと、優先したい顔を自分で選んで登録できます。顔を追尾しているときは、被写体が画面から消えても、登録した顔が再び画面に映った場合には登録した顔でピント合わせをします。

① 顔検出中に、登録したい顔をタッチする。
タッチした顔が優先顔として登録され、二重枠表示に変わる。

② 顔をタッチするたびに、登録が更新される。

③ 登録を解除したい場合は×をタッチする。

パノラマ画像を撮る(顔・動き検出対応)

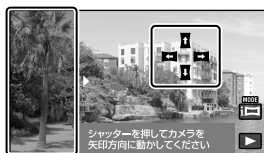
カメラを動かす間に複数の画像を撮影し、合成して1枚のパノラマ画像を作成します。パノラマ画像は付属のソフトウェア「PMB」でも再生できます。

1 i(撮影モード) → i(パノラマ撮影シーン) → i(スイングパノラマ)をタッチする。

- [3Dスイングパノラマ]、[スイングマルチアングル]を撮影する場合は、撮影モードを[3D撮影]にして、好みのモードを選択する。

2 撮りたい被写体の端にカメラを合わせ、シャッターボタンを押す。

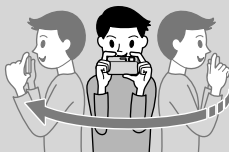
撮影されない部分

- [スイングパノラマ]、[3Dスイングパノラマ]は↑/↓/←/→のアイコンをタッチすると、撮影する方向を変更できます。

3 画面上の矢印方向に、カメラをガイドの終端まで動かす。

ガイド

ご注意

- 他機で記録されたパノラマ画像は、正しくスクロール再生されない場合があります。

3D撮影のポイント

体を軸に、カメラを一定の速度でゆっくり回す（半周5秒が目安です）。
速すぎたり遅すぎたりするときは、画面にメッセージが表示されます。実際の撮影の前にあらかじめ何度か練習しておくことをおすすめします。

- 被写体と背景との距離を充分にたもったり、屋外などの明るい場所で撮ることもポイントです。

高解像なパノラマ画像を撮る

パノラマ画像サイズを[高解像]にすると、43M（10480×4096）のパノラマ画像を撮影できます（38ページ）。

① カメラを縦に構える
② 画面右側の ⬅/➡（撮影方向）をタッチして撮影方向を選ぶ
③ カメラを動かして撮影する

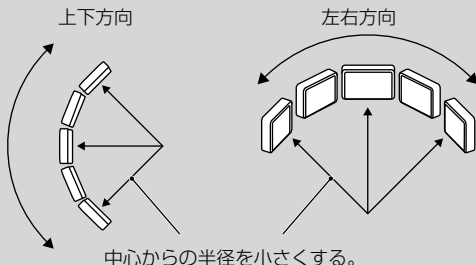
- 動いている被写体には適していません。

スイングマルチアングルの撮影範囲

撮影イメージ

中心にしたい被写体に対して、左右45度を目安にスイングしてください。

スイングパノラマ撮影のポイント

一定の速度で小さな円を描くように動かし、画面の矢印方向と平行に動かしてください。動いている被写体よりも、止まっている被写体のほうがパノラマ撮影には適しています。

3D画像を撮る

複数の画像を撮影し、合成して3D画像を作成します。

1 i（撮影モード）→ 3D（3D撮影）→ 好みのモードをタッチする。

（3D静止画）：3D対応テレビで立体的に見える画像を撮影できる。

（3Dスイングパノラマ）：カメラを左右に動かし3D対応テレビで立体的に見えるパノラマ画像を撮影する。

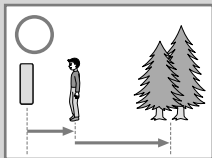
（スイングマルチアングル）：本機を左右に傾けて立体的に見ることのできるパノラマ画像と3D対応テレビで立体的に見えるパノラマ画像を撮影する。

2 以下の手順で撮影する。

(3D静止画)のとき：シャッターボタンを押す。
(3Dスイングパノラマ)/ (スイングマルチアングル)のとき：スイングパノラマ(33ページ)と同様に撮影する。

ご注意

- 3D静止画を撮影する場合は、画像サイズは[16M]または[16:9（12M)]しか選べません。

3D静止画で撮影するときのポイント

イラストのように被写体に近づき、被写体と背景の距離は大きくとってください。
暗すぎるシーンや動きのある被写体を撮影した場合、またAE/AFロック後にカメラを動かした場合は、3D効果がはっきり出ない場合があります。
また、暗い場所で撮影した場合、ノイズが強調されることがあります。

被写体の背景をぼかして撮る(背景ぼかし)

画像処理によって背景をぼかして被写体を際立たせた画像を撮影できます。

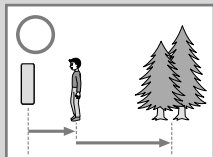
1 (撮影モード) → (背景ぼかし)をタッチする。

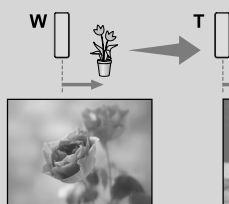
- 撮影前に画面左の[ぼかし効果]をタッチして背景のぼかし効果を変更できる。

2 シャッターボタンを押す。

背景ぼかし撮影のポイント

撮影モードを[背景ぼかし]にすると、画像処理によって背景をぼかして被写体を際立たせた画像を撮影できます。以下のポイントを参考にして、うまく背景をぼかしましょう。

被写体と背景の位置

イラストのように被写体と背景の間の距離を大きくとると、背景をぼかして撮影できます。被写体と本機の距離を、画面に表示される推奨距離内におさめてください。

ズーム倍率と被写体の位置

花や小物などに近づいて撮影するときは、W/T（ズーム）レバーをW側にしましょう。人物を撮影するときは、被写体から少し離れてT側にしましょう。

• 動く被写体を撮影すると、うまく背景がぼけないことがあります。

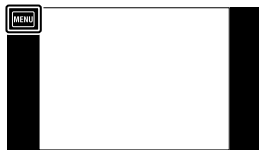
連続して撮る（連写設定）

シャッターボタンを押し続けている間、最大10枚連写します。

1 MENU → (連写設定) → 好みのモードをタッチする。

(切)：1枚撮影する。

(高)：最高約10コマ/秒の速さで連写する。

(低)：最高約2コマ/秒の速さで連写する。

用途に合わせて画像のサイズ/画質を選ぶ

画像サイズは画像を記録するときの大きさのことです。
画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも詳細にプリントできます。
小さくすると、たくさん撮影できます。
動画の場合、画像サイズは大きいほど高精細になります。1秒間に使用されるデータ量（平均ビットレート）は、高いほど画質が向上します。

1 MENU → 好みの画像サイズや画質をタッチする。

MENU

- 撮影モードによっては、画面左側に表示されるボタンから設定する。
- 選択できる画像サイズや画質は、カメラの設定によって変わる。

静止画画像サイズ	用途例	本機の表示
4:3 16M (4608 × 3456)	A3ノビサイズまでの印刷	縦横比4:3で表示
4:3 10M (3648 × 2736)	A3サイズまでの印刷	
4:3 5M (2592 × 1944)	L/2L/A4サイズまでの印刷	
4:3 VGA (640 × 480)	Eメールに添付	
16:9 12M (4608 × 2592)	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞やA3サイズまでの印刷	画面いっぱいに表示
16:9 2M (1920 × 1080)	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞	

パノラマ画像サイズ	説明
16:9 2M 16:9	左右：1920 × 1080で撮影 3D撮影時に選択できます。
STD 標準	左右：4912 × 1080で撮影 上下：3424 × 1920で撮影 最大角度は163です。
WIDE ワイド	左右：7152 × 1080で撮影 上下：4912 × 1920で撮影 最大角度は238です。
HR 高解像	左右：10480 × 4096で撮影

動画画質	平均ビットレート	説明
FX AVC HD 24M (FX)	24Mbps	1920 × 1080 (60i)の最高画質で撮影
FH AVC HD 17M (FH)	17Mbps	1920 × 1080 (60i)の高画質で撮影
HQ AVC HD 9M (HQ)	9Mbps	1440 × 1080 (60i)の標準画質で撮影

動画サイズ	平均ビットレート	説明
1080 MP4 12M	12Mbps	1440 × 1080で撮影
720 MP4 6M	6Mbps	1280 × 720で撮影
VGA MP4 3M	3Mbps	VGAサイズで撮影

ご注意

- 16:9やスイングパノラマで撮影した静止画画像は、プリント時に両端が切れることがあります。パノラマ印刷については54ページもご覧ください。
- 動画画質を[AVC HD 24M (FX)]にして撮影した動画からAVCHDディスクを作成することはできません。ブルーレイディスクに保存してください(60ページ)。

フラッシュモードを選ぶ

1 **（フラッシュ）→ 好みのモードをタッチする。**

（オート）：暗い場所または逆光のとき、自動で発光する。

（強制発光）：必ず発光する。

（スローシンクロ）：必ず発光する。暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影する。

（発光禁止）：発光しない。

使用可能なフラッシュモード

設定している撮影モードや機能によって、選べるフラッシュモードが異なります。

○は変更可能、×は変更不可能を表しています。

撮影モード	オート	強制発光	スローシンクロ	発光禁止
おまかせオート撮影	○	×	×	○
プレミアムおまかせオート撮影	○	×	×	○
パノラマ撮影シーン*	×	×	×	○
プログラムオート撮影	○	○	○	○
背景ぼかし*	×	×	×	○

シーンセレクション	美肌	○	○	○	○
	ソフトスナップ	○	○	○	○
	人物ブレ軽減*	×	×	×	○
	風景	×	○	×	○
	逆光補正HDR	×	○	×	○
	夜景＆人物	×	×	○	×
	夜景*	×	×	×	○
	手持ち夜景*	×	×	×	○
	高感度*	×	×	×	○
	料理	×	○	×	○
	ペット	×	○	×	○
	ビーチ	×	○	×	○
	スノー	×	○	×	○
	打ち上げ花火*	×	×	×	○
	水中	×	○	×	○
	高速シャッター	×	○	×	○
3D撮影*		×	×	×	○
連写*		×	×	×	○

* これらのモードではフラッシュ撮影はできません。

セルフタイマー/自分撮り機能を使う

1 （セルフタイマー）→ 好みのモードをタッチする。

（切）：セルフタイマーを使わない。

（10秒）：10秒後に撮影。自分も一緒に写りたいときに使う。
シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始される。解除するには×をタッチする。

（2秒）：2秒後に撮影。シャッターボタンを押したときのブレが軽減できるため、手ブレが起こりにくくなる。

（自分撮り1人）/（自分撮り2人）：カメラが人物の顔を検出して自動撮影。自分にカメラを向けて撮影するときに使う。
設定した人数の顔を検出すると「ピピッ」と音が鳴り、2秒後に撮影が開始される。

「自分撮り」で自動撮影

画面に顔が映るようにレンズを自分に向けてください。カメラが設定した人数の被写体の顔を検出すると撮影が開始されます。カメラが最適な構図を判断して撮影するため、画面から顔が外れるのを防ぐことができます。
ピピッと音が鳴ったらカメラを動かさないでください。

- 待機中にシャッターボタンを押すと、通常撮影もできます。

場面に合った撮影モードを使う（シーンセレクション）

1 **（撮影モード）→ SCN（シーンセレクション）→ 好みのモードをタッチする。**

ほかのシーンにしたいときは、撮影モードをタッチして選び直す。

（美肌）＊：人物の肌をなめらかに補正して撮影する。

（ソフトスナップ）：人物や花などを、やさしい雰囲気で撮影する。

（人物ブレ軽減）＊：室内で人物撮影をする場合、フラッシュを使わずにブレを軽減しながら撮影する。

（風景）：遠景にピントを合わせ、青空や草木の色を鮮やかに撮影する。

（逆光補正HDR）＊：露出の異なる3枚の画像を撮影し、明るい露出設定の画の暗い部分と、暗い露出設定の画の明るい部分を合成して1枚の階調豊かな画像を撮影する。

（夜景＆人物）＊：夜景の雰囲気を損なわずに、手前の人物を際立たせた画像を撮影する。

（夜景）：暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影する。

（手持ち夜景）＊：三脚を使わなくてもノイズの少ないきれいな夜景を撮影する。

(高感度)：暗いところでも、フラッシュを使わずにブレを軽減しながら撮影する。

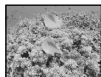
(スノー)：雪景色などの画面全体が白くなるような場所で撮影する場合、画面が沈みがちになるのを防ぎ、明るくなるようにする。

(料理)＊：マクロモードになり、料理を明るく美味しそうに撮影する。

(打ち上げ花火)：打ち上げ花火をきれいに撮影する。

(ペット)＊：ペットを最適な設定で撮影する。

(水中)：水中をきれいに撮影する。

(ビーチ)：海や湖畔などに適した設定で撮影する。

(高速シャッター)＊：屋外などの明るい場所で動きのある被写体を撮影する。

＊ ［動画撮影シーン］の［シーンセレクション］では選べません。

タッチパネルを使いこなす

本機は画面をなぞったりタッチすることで操作できます。

画面の状態	できること		操作方法
再生		前または次の画像/ページへ送る	左右になぞる
再生		再生画像の拡大	再生画像をタッチすると、タッチした部分を中心に拡大される。

ご注意

- 以下のような操作を行わないでください。誤動作の原因となります。
  - –鉛筆やボールペン、爪先などとがったものでの操作
  - –カメラを持つ手がフレームより内側を触れている状態での操作
- 画面の表示は一定時間操作しないと消えます。もう一度表示するには、画面をタッチしてください。
- タッチパネルに水滴がついている場合は、繊維の残らないやわらかい布等で拭き取ってください。

画面いっぱいに画像を表示する（ワイドズーム）

1 ▶（再生）ボタンを押して画像を再生し、↔（ワイドズーム）をタッチする。

- 終了するには、再び↔をタッチする。

イベントから選ぶ（日付選択）

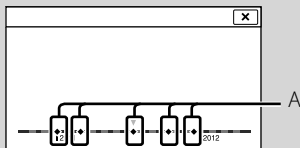
再生したい日付から選択することができます。

1 ▶（再生）ボタンを押して、（日付選択）をタッチする。

2 画面をなぞりながら見たい日付の画像を中央に表示させる。

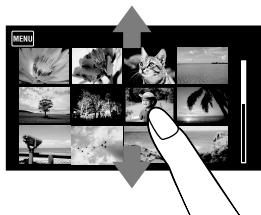
3 中央の画像をタッチする。

タイムラインバーから選択する

タイムラインバー上の(A)をタッチして日付を選択できます。

素早く探す(一覧表示)

1 ▶(再生)ボタンを押して画像を再生し、▦(一覧表示)をタッチする。

2 画面を上下になぞり、ページを送る。

- MENU → [一覧表示枚数]で表示枚数を12枚か28枚に設定できる。
- 一覧表示画面で画像をタッチすると、1枚再生に戻る。

音楽といっしょに再生する(スライドショー)

1 ▶(再生)ボタンを押して画像を再生し、MENU → (スライドショー) → (音楽付スライドショー)をタッチする。

2 希望の設定項目を選び[実行]をタッチする。

- スライドショーを終了するには、画面をタッチして、[スライドショー終了]をタッチする。

好きな曲をBGMにする

お手持ちの音楽CDやMP3ファイルからお好みの曲(BGMファイル)を本機に転送し、スライドショーとともに再生できます。BGMファイルを転送するには、付属のソフトウェア「Music Transfer」をパソコンにインストールして(56ページ)、下記手順を行います。

① MENU → (設定) → (本体設定) → [BGMダウンロード]をタッチする

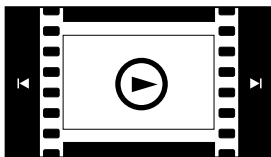
② 本機とパソコンをUSB接続する。

③「Music Transfer」を起動して操作する。

詳しくは「Music Transfer」のヘルプをご覧ください。

動画を見る

1 ▶(再生)ボタンを押して、動画を再生し、画面中央の▶(再生)をタッチする。

- 再生中、画面をタッチすると、操作ボタンが表示される。

ボタン	再生中にできること
►	再生
❚❚	一時停止
►►	早送り
◄◄	早戻し
❚►	スロー再生
◄❚	スロー逆再生
►►❚	チャプタ送り
❚◄◄	チャプタ戻し
❚❚►	コマ送り
◄❚❚	コマ戻し
🔈	音量調節
×	操作パネルを閉じる

ご注意

- 操作パネルに表示されるボタンは、再生状態によって変わります。

一覧表示画面で動画のみ表示する

MENU → (ビューモード) → MP4(フォルダビュー(MP4))または AVCHD(AVCHDビュー)で、動画だけの一覧表示画面を表示することができます。

MP4(フォルダビュー(MP4))	MP4形式の動画を表示する。
AVCHD(AVCHDビュー)	AVCHD形式の動画を表示する。

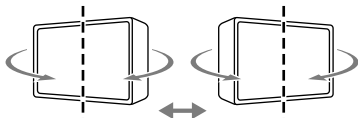
- 再生した動画が終わると自動的に次の動画が始まります。

スイングマルチアングル画像を立体的に見る

本機を左右に傾けることにより、立体的な画像を見ることができます。

1 **▶(再生)ボタンを押して▶I/I◀で3D(スイングマルチアングル)で撮影した画像を選ぶ。**

2 **(()) をタッチする。**

3 **本機を左右に傾ける。**

ご注意

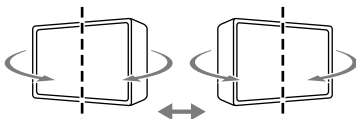
- [3D静止画]、[3Dスイングパノラマ]で撮影した画像は、本機の画面で立体的に見ることはできません。

連写画像を動画のように見る

本機を左右に傾けることにより、連写した画像を動画のように見ることができます。

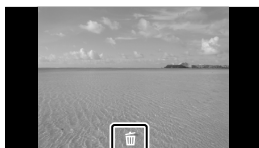
1 ▶(再生)ボタンを押して画像を再生する。

2 ►I/I◄で連写画像を選び、((◻))をタッチする。

3 本機を左右に傾ける。

ご注意

- [ビューモード]を[日付ビュー]、[連写グループ表示]を[グループ代表画像のみ表示]に設定したときのみ連写を動画のように見ることができます。

削除する

1 （再生）ボタンを押して画像を再生し、（削除）→好みのモードをタッチする。

（この画像以外全て）：連写グループ表示時、選択している画像以外を削除する。

（この連写画像全て）：選択している連写グループ内すべての画像を、まとめて削除する。

（この画像）：見ている画像を削除する。

（画像選択）：画像を何枚か選んで削除する。画像をタッチして選び、[OK] → [OK]をタッチする。

（この日の画像全て）/（フォルダ内全て）/（AVCHDビュー動画全て）：日付・フォルダ内すべての画像、またはAVCHD動画をまとめて削除する。

すべての画像を削除する（フォーマット）

メモリーカードが本機に入っている場合はメモリーカードのデータを、入っていない場合は内蔵メモリーのデータをすべて削除します。フォーマットするとプロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

MENU → （設定） → （メモリーカードツール）または（内蔵メモリーツール） → [フォーマット] → [OK]をタッチする。

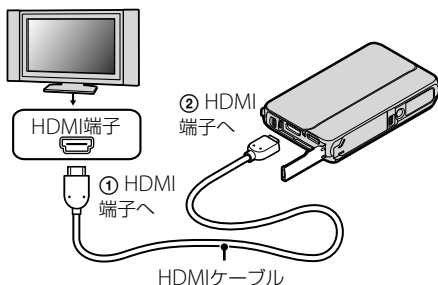
テレビで見る

テレビで見るには、別売の接続ケーブルが必要です。

HDMIケーブル（別売）で接続すると、本機で撮影した画像を高画質でお楽しみいただけます。

標準画質（SD）のテレビで見るときは、USB/AV/DC INマルチ端子ケーブル（別売）で接続します。

- 「Type3b」対応のUSB/AV/DCINケーブル（別売）をお使いください。

1 本機とテレビをHDMIケーブル（別売）で接続する。

ご注意

- 本機側はHDMIミニ端子、テレビ側はテレビの端子に合ったタイプのHDMIケーブルをお使いください。
- HDMIケーブルはHDMIロゴが付いているものをお使いください。

3D対応テレビで3D画像を見るときは

HDMIケーブル（別売）で3D対応テレビと接続すると、本機で撮影した3D画像をお楽しみいただけます。

MENU → （3D鑑賞）

- 詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

海外で見るときは

本機で撮影した動画をテレビで見るには、本機と同じカラーテレビ方式（NTSC）が必要です。使用する国、または地域のカラーテレビ方式をご確認ください。

NTSC方式
　アメリカ合衆国、カナダ、大韓民国、台湾、メキシコなど

プリントする

静止画をプリントするには、下記の方法があります。

- ダイレクトプリント（メモリーカード対応プリンター使用）
  詳しくは、プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンを使ってプリント
  CD-ROM収録のソフトウェア「PMB」を使って画像をパソコンに取り込んでから、プリントします。日付を入れてプリントできます。
  詳しくは、「PMBヘルプ」をご覧ください。
- お店でプリント

パノラマ画像をプリントする

パノラマ撮影した画像のプリント画像は印刷方法やプリンターによって異なります。

- 縁無し印刷をすると、中央部のみ印刷されます。
- 縁あり印刷をすると、画像を縮小して全体が印刷されます。
- パノラマ画像サイズを[高解像]にして撮影したパノラマ画像が大きすぎて印刷できない場合は、付属のソフトウェア「PMB」のリサイズ機能をご利用ください。[高解像]で撮影したパノラマ画像を50%にリサイズするなどできます。詳しくは「PMBヘルプ」をご覧ください。
- プリンターによってはパノラマ画像を印刷できない場合があります。詳しくはプリンターメーカーにお問い合わせください。

お店でプリントするには

内蔵メモリー内の画像は、直接カメラからプリントすることはできません。メモリーカードにコピーしてプリントサービス店にお持ちください。

コピー方法：MENU→ （設定）→ （メモリーカードツール）→［コピー］→［OK］

その他詳しくは、プリントサービス店にご相談ください。

パソコンで使う

サイバーショットで撮影した画像をよりいっそうご活用いただくために、CD-ROM（付属）には「PMB」が収録されています。「PMB」を使うと画像の編集やディスク作成など、撮影した画像の管理や活用範囲が広がります。
詳しくは、PMBサポートページ（http://www.sony.co.jp/pmb-sj/）、または「PMBヘルプ」（58ページ）をご覧ください。

ご注意

- 「PMB」は、Macintoshには対応していません。

操作1：「PMB」（付属）をインストールする

下記の手順で、ソフトウェア（付属）をインストールします。

• コンピュータの管理者権限でログオンしてください。

1 パソコンの環境を確認する。

「PMB」、「Music Transfer」、「PMB Portable」使用時、画像を取り込むときの推奨環境

OS（工場出荷時にインストールされていること）：Microsoft Windows XP* SP3/Windows Vista SP2/Windows 7

CPU：Intel Pentium Ⅲ 800 MHz以上（HD動画再生・編集時は、Intel Core Duo 1.66 GHz以上/Intel Core 2 Duo 1.66 GHz以上/Intel Core 2 Duo 2.26GHz以上（HD FX/HD FH））

メモリ：512 MB以上（HD動画再生・編集時は1 GB以上）

ハードディスク（インストール時に必要な容量）：約500 MB

ディスプレイ：1024×768ドット以上

* 64bit版は除きます。
ディスク作成機能のご使用には、Windows Image Mastering API（IMAPI）Ver.2.0 以上が必要です。

2 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

インストール画面が表示される。

3 [インストール]をクリックする。

「言語の選択」画面が表示される。

4 画面の指示に従ってインストールを進める。

• インストールするには途中でカメラとパソコンを接続する。接続しないと画面の取り込み機能などが使えない場合もあります。

• 「PMB」と同時に「Music Transfer」もインストールされます。

5 インストール後、パソコンからCD-ROMを取り出す。

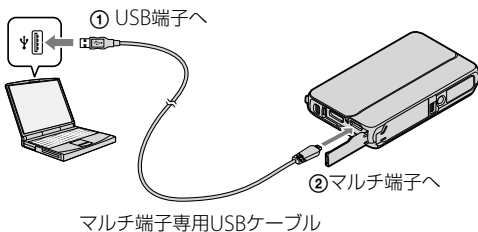
ご注意

- 「PMB」をすでにインストールしているパソコンで、付属のCD-ROMのバージョンより小さい番号をご使用の場合は、付属のCD-ROMからもインストールしてください。「PMB」は上書きされるため、すでにインストールされている「PMB」の削除は不要です。
- 付属のCD-ROMのバージョンより大きい番号をご使用の場合はインストール不要です。本機とパソコンをUSB接続すると、使用できる機能が有効になります。

操作2：「PMB」で画像をパソコンに取り込む

1 本機とパソコンをマルチ端子専用USBケーブル（付属）で接続する。

本機の画面に「Mass Storage接続中」と表示される。

マルチ端子専用USBケーブル

- 通信中は本機の画面に 〔USB〕 が表示されます。その間はパソコンの操作をしないでください。 —USB— が表示されたら操作できます。
- ［USB給電］が［入］になっているとき、パソコンと本機をマルチ端子専用ケーブルでつなぐとパソコンから給電が始まります（初期設定では［入］です。）。

2 [取り込み開始]をクリックする。

その他詳しくは、「PMBヘルプ」をご覧ください。

ご注意

- AVCHD動画を取り込む等の操作は「PMB」を使用してください。
- カメラの動作中やアクセス中の画面が表示されている場合、カメラ本体からマルチ端子専用USBケーブルをはずしたりしないでください。データが壊れることがあります。

操作3：「PMBヘルプ」を見る

1 デスクトップ上の（PMBヘルプ）をダブルクリックする。

- スタートメニューから起動するときは、[スタート] → [すべてのプログラム] → [PMB] → [PMBヘルプ]の順にクリックする。

「Macintosh」で使う

Macintoshに画像を取り込むことができます。ただし、「PMB」は対応していません。「Music Transfer」はインストールできます。

パソコンの推奨環境

本機とつなぐパソコンは、下記の推奨環境が必要です。

「Music Transfer」、「PMB Portable」使用時、画像を取り込むときの推奨環境

OS（工場出荷時にインストールされていること）：

USB接続: Mac OS X（v10.3 ～ v10.6）

Music Transfer/PMB Portable: Mac OS X*（v10.4 ～ v10.6）

* インテルプロセッサー搭載モデル

「PMB Portable」を使う

本機にはアプリケーション「PMB Portable」が内蔵されています。
「PMB」がインストールされていないパソコンからも、画像を簡単にネットワークサービスへアップロードできます。
詳しくは、「PMB Portable」のヘルプをご覧ください。

1 本機とパソコンを接続する（57ページ）。

Windows 7：デバイスステージ*を起動する。
Windows XP/Windows Vista：自動再生ウィザードが表示される。
Macintosh：[PMBPORTABLE]が表示される。

* 接続されたカメラなどを管理できるメニュー画面（Windows7の機能）

2 [PMB Portable]をクリックする。

Windows 7/ Windows XP/Windows Vista：[PMB Portable]をクリックする。
Macintosh：[PMBPORTABLE]フォルダ内の[PMBP_Mac]をクリックする。
使用許諾画面が表示される。

3 画面の指示に従って設定を行う。

「PMB Portable」が起動する。
その他詳しくは、「PMB Portable」のヘルプをご覧ください。

ご注意

- 「PMB Portable」使用時は、必ずネットワーク接続してください。
- 「PMB Portable」はAVCHD動画に対応していません。
- PMB Portableが起動できないときは、[USB接続]を[Mass Storage]にして、接続してください。
- Windows XP/Windows Vista使用時に、自動再生ウィザード画面が表示されないときは、[コンピュータ]（Windows XPでは[マイコンピュータ]）→ [PMBPORTABLE]をクリック、「PMBP_Win.exe」をダブルクリックする。

• Windows7使用時に、デバイスステージが起動しないときは、[コンピュータ]をクリックし、カメラアイコン → メディアアイコン → [APPLICATION] → 「PMBP_MTP.exe」をダブルクリックする。
• Windows7使用時は、お使いのパソコン設定によっては、機種固有情報のないデバイスステージ初期画面・が出ることがあります。この場合、画面の指示に従って、最新情報をダウンロードしてください。
• Windows7使用時は、PMB Portableの起動時に自動的にMass Storage接続に切り替わります。

動画のディスクを作成する

本機で記録したAVCHD動画からディスクを作成することができます。ディスクの種類によって再生可能な機器が異なります。お使いの再生機器に合わせて、作成するディスクの種類を選択してください。
作成方法は、「PMB」を使ってパソコンで作成する方法と、DVDライターなどのパソコン以外の機器を使って作成する方法を紹介します。

再生機器	ディスクの種類	特徴
ブルーレイディスク再生機器 （ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション 3など）	Blu-ray	ブルーレイディスクには、ハイビジョン画質（HD）の動画をDVDディスクに比べ長時間記録できます。
AVCHD規格対応再生機器 （ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション 3など）	AVCHD	ハイビジョン画質（HD）の動画をDVD-RなどのDVDディスクに記録して、ディスクを作成します。 • ハイビジョン画質のディスクは、一般的なDVDプレーヤーでは再生できません。
一般的なDVD再生機器 （DVDプレーヤー、DVD再生可能なパソコンなど）	STD	ハイビジョン画質（HD）の動画を標準画質（STD）に変換し、DVD-RなどのDVDディスクに記録して、ディスクを作成します。

パソコンで作成する

「PMB」を使ってAVCHD動画をパソコンに取り込み、ブルーレイディスク、AVCHDディスク、または標準画質(STD)のディスクを作成することができます。
「PMB」を使ったディスクの作り方についての詳細は「PMBヘルプ」をご覧ください。

ご注意

- ブルーレイディスクを作成するには、「PMB」インストール画面でBD アドオンソフトウェアをインストールする必要があります。

パソコン以外の機器で作成する

ブルーレイレコーダーやDVDライターでもディスクを作成することができます。
機器によって作成できるディスクの種類が異なります。

使用する機器		作成できるディスクの種類
	ブルーレイレコーダーを使ってブルーレイディスクや標準画質(DVD)を作成する。	Blu-ray STD
	DVDirect Express以外のDVDライターを使ってAVCHDディスクまたは、標準画質(STD)のディスクを作成する。	AVCHD STD
	HDDレコーダーなどを使って標準画質(STD)のディスクを作成する。	STD

ご注意

- 作成方法の詳細は、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
- ソニー製DVDirect (DVDライター)をお使いの場合、データの転送にはメモリーカードスロットとUSB接続が使えます。
- ソニー製DVDirect (DVDライター)を使うときは、DVDライターのファームウェアが最新版であることをご確認ください。
  詳しくは下記のURLをご覧ください。
  http://www.sony.jp/dvdirect/

TransferJetで画像を送信する

TransferJetとは、通信したい製品同士を合わせることで、データ送信ができる近接無線転送技術です。お使いのカメラにTransferJet機能が搭載されているかどうかは、本体底面の (TransferJet)マークを確認してください。TransferJet搭載"メモリースティック"(別売)を使用すると、TransferJet対応機器との間で画像を転送できます。
TransferJetについて詳しくは、TransferJet搭載"メモリースティック"の取扱説明書もご覧ください。

1 **TransferJet搭載"メモリースティック"を本機にいれ、▶(再生)ボタンを押して画像を再生する。**

2 **MENU → (TransferJet送信) → 好みのモード → [OK]をタッチする。**

(この画像)：見ている画像を送信する。

(画像選択)：画像を何枚か選んで送信する。画像をタッチして選び、[OK] → [OK]をタッチする。

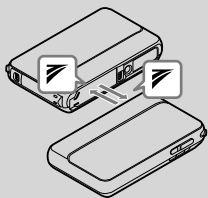
受信するだけのときは、この操作は不要です。

3 **本機と相手機器の (TransferJet)マークを合わせて画像を送信する。**

ご注意

- 送信できる画像は静止画のみです。
- あらかじめ (設定)で[TransferJet]を[入]にしてください。
- 飛行機の中では (設定)の[TransferJet]を[切]にしてください。その他、ご利用になる場所の規制に従ってお使いください。

データをうまく送受信するポイント

本機と相手側の (TransferJet)マークを合わせてください。

- (TransferJet)マークを合わせる角度によっては、通信の速度や範囲が変わります。
- 通信状態が悪い場合、本機の位置や角度を少し動かして、通信しやすい位置を見つけてください。
- 図のようにカメラ同士を平行にして (TransferJet)マークを合わせると送受信しやすくなります。

操作音を変える

操作音の設定を変更したり、音を消したりします。

1 **MENU → (設定) → (本体設定) → [操作音] → 好みのモードをタッチする。**

シャッター：シャッターボタンを押したときのみ、シャッター音が鳴る。

入：タッチパネルを操作したときや、シャッターボタンを押したときなどに、操作音/シャッター音が鳴る。

切：音は鳴らない。

画像に撮影日付を入れる

撮影した日付を画像に挿入するように設定できます。

1 **MENU → (設定) → (撮影設定) → [日付書き込み] → 好みのモードをタッチする。**

入：日付を挿入する。

切：日付を挿入しない。

ご注意

- 画像に入れた日付表示は消せません。
- 印刷時に日付を入れる設定にすると、二重で日付が印刷されます。

MENUにある機能を使う

撮影中・再生中に見えている画面に対して使える機能を表示して、手軽に設定できます。
本機の画面には設定できる項目のみが表示されます。MENUの下に表示されている4つのメニュー項目は、メニュー画面内には表示されません。
お買い上げ時の状態に戻すには、MENUをタッチして (設定) → (本体設定) → [設定リセット]で戻せます。

撮影時のMENU

項目	説明
動画撮影シーン	動画の撮影モードの設定を変更する。 (おまかせオート撮影/SCNシーンセレクション)
かんたんモード	必要最低限の機能を使って撮影する。
フラッシュ	フラッシュを設定する。 (オート/強制発光/スローシンクロ/発光禁止)
セルフタイマー	セルフタイマーを設定する。 (切/10秒/2秒/自分撮り1人/自分撮り2人)
ぼかし効果	背景ぼかし撮影時、背景のぼかし効果を設定する。 (低/中/高)

カメラの設定を変える

項目	説明
静止画サイズ/パノラマ画像サイズ/動画画質/動画サイズ	画像サイズまたは画質を設定する。 (4:3 16M/4:3 10M/4:3 5M/4:3 VGA/16:9 12M/16:9 2M) (16:9 2M 16:9/STD 標準/WIDE ワイド/HR 高解像) (FX AVC HD 24M (FX)/FH AVC HD 17M (FH)/HQ AVC HD 9M (HQ)) (1080 MP4 12M/720 MP4 6M/VGA MP4 3M)
連写設定	連写を設定する。 (OFF 切/Hi 高/Lo 低)
マクロ	小さいものを近くできれいに撮影する。 (AUTOオート/拡大鏡)
明るさ(EV補正)	露出を手動調整する。 (−2.0EV ~ +2.0EV)
ISO	ISO感度を設定する。 (ISO AUTO/ISO 125 ~ ISO 3200)
色合い(ホワイトバランス)	撮影場所の光の状況に合わせて画像の色合いを調整する。 (WB AUTO オート/太陽光/曇天/蛍光灯1/蛍光灯2/蛍光灯3/電球/WB フラッシュ /ワンプッシュ)
水中ホワイトバランス	水中での色合いを調整する。 (WBオート/WB 1水中1/WB 2水中2)
フォーカス	ピント合わせの方法を変更する。 (マルチAF/中央重点AF/スポットAF)
測光モード	画面のどの部分で光を測るか(測光)を設定する。 (マルチ/中央重点/スポット)
おまかせシーン認識	カメラがシーンを判断して撮影する。 (iSCN オート/iSCN+ アドバンス)
美肌効果	顔検出時、被写体の美肌効果を設定する。 (Lo 低/Mid 中/Hi 高)
スマイルシャッター	笑顔を検出すると自動で撮影する。
スマイル検出感度	笑顔を検出する感度を設定する。 (大笑い/普通の笑顔/ほほ笑み)

項目	説明
顔検出	人物の顔を検出し、ピントを合わせる優先対象を設定する。 （切/オート/こども優先/おとな優先）
目つぶり軽減	目つぶり軽減機能を設定する。 （オート/切）
カメラ内ガイド	カメラの機能や使いかたを検索する。
（設定）	本機の設定を変更する。

再生時のMENU

項目	説明
EASY（かんたんモード）	文字を大きく表示して使いやすくする。
（日付選択）	画像を日付から選択する。
（カレンダー表示）	カレンダー画面から再生する日付を選ぶ。
（一覧表示）	同時に複数の画像を表示させる。
（スライドショー）	画像を連続再生する。 （連続再生/音楽付スライドショー）
（削除）	画像を削除する。 （この画像以外全て/この連写画像全て/この画像/画像選択/この日の画像全て*）
（TransferJet送信）	TransferJet搭載"メモリースティック"の画像を対応メディアに送信する。 （この画像/画像選択）
（ペイント）	静止画へ描き込みをして別ファイルとして保存する。
（加工）	画像を加工して別ファイルで保存する。 （トリミング（リサイズ）/赤目補正/ピントくっきり補正）
（3D鑑賞）	3D撮影した画像を3D対応テレビで見る。
（ビューモード）	ビューモードの切り換えを行う。 （日付ビュー/フォルダビュー（静止画）/フォルダビュー（MP4）/AVCHDビュー）

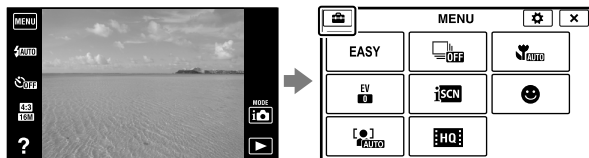
カメラの設定を変える

項目	説明
(連写グループ表示)	連写画像の表示のしかたを選択する。 (グループ代表画像のみ表示/ 全て表示)
(プロテクト)	画像を誤って消さないように保護(プロテクト)する。 (この画像/ 画像選択/ この連写画像全て設定/ この連写画像全て解除/ この日の画像全て設定*/この日の画像全て解除*)
DPOF(プリント(DPOF))	メモリーカードの画像にプリント予約マークを付ける。 (DPOF この画像/DPOF 画像選択)
(回転)	静止画を左に回転する。
(音量)	音量を調節する。
(画像情報)	画面に表示している画像ファイルの撮影情報(Exif情報)を表示するかどうか設定する。 (入/ 切)
(一覧表示枚数)	一覧表示時、画像を表示する枚数を設定する。 (12枚/28枚)
?(カメラ内ガイド)	カメラの機能や使いかたを検索する。
(設定)	撮影機能以外の、本機の設定を変更する。

* 各ビューモードによって、表示される項目が異なります。

(設定)にある機能を使う

本機のお買い上げ時の設定を変更できます。

(撮影設定)は、撮影モードから設定に入ったときのみ表示されます。

カテゴリー	項目	説明
撮影設定	動画記録方式	動画を記録するときの記録方式を設定する。
	AF補助光	暗所でピントを合わせるための補助光を発光する。
	グリッドライン	構図を合わせるための線を表示する。
	デジタルズーム	光学ズーム以上のズームの方法を設定する。
	風音低減	動画撮影時、風音を低減する。
	シーン認識ガイド	シーン認識マークの横に表示されるガイドを表示する。
	赤目軽減	フラッシュ撮影時、目が赤くなるのを軽減する。
	目つぶり通知	目を閉じている画像を記録すると、メッセージを表示する。
	日付書き込み	撮影した日の日付を画像に記録するかどうかを設定する。

カテゴリー	項目	説明
本体設定	操作音	本機の操作時に鳴る音を設定する。
	パネル明るさ	画面の明るさを設定する。
	言語設定	本機は日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。
	画面カラー	画面のカラーを設定する。
	デモモード	スマイルシャッターやAVCHD動画再生のデモンストレーションをする。
	設定リセット	お買い上げ時の設定に戻す。
	HDMI機器制御	ブラビアリンク対応のテレビと接続した場合、テレビのリモコンで操作するかどうか設定する。
	ハウジング	ハウジング(マリンパックなど)を装着したとき、ボタンの働きを変更する。
	USB接続設定	接続するパソコンやUSB機器に合わせて設定する。
	USB給電	USB接続して給電するかどうか設定する。
	LUN設定	USB接続したときに、パソコンなどに表示される記録メディアを設定する。
	BGMダウンロード	スライドショー用の音楽を変更する。
	BGMデータ消去	スライドショー用の音楽をすべて消去する。
	TransferJet	TransferJet搭載"メモリースティック"の通信設定をする。
	Eye-Fi*	市販のEye-Fiカードを使うときのアップロード通信設定をする。
	パワーセーブ	オートパワーオフまでの時間を設定する。

カテゴリー	項目	説明
メモリーカードツール	フォーマット	メモリーカードをフォーマット(初期化)する。
	記録フォルダ作成	メモリーカードの中に新しいフォルダを作成する。
	記録フォルダ変更	画像を記録するフォルダを変更する。
	記録フォルダ削除	メモリーカードの中のフォルダを削除する。
	コピー	内蔵メモリーに記録した画像を、メモリーカードに一括コピーする。
	ファイル番号	ファイル番号の付けかたを設定する。
内蔵メモリーツール	フォーマット	内蔵メモリーをフォーマット(初期化)する。
時計設定	エリア設定	本機を使用する場所に適した時刻に設定する。
	日時設定	時計、日付の設定をする。

* 対象のメモリーカードを挿入しているときのみ表示されます。

静止画の記録可能枚数と動画の記録可能時間

記録枚数/時間は、撮影状況および使用するメモリーカードによって異なる場合があります。

静止画

（単位：枚）

サイズ ＼ 容量	内蔵メモリー	本機でフォーマットしたメモリーカード				
	約19MB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
16M	3	335	670	1350	2700	5400
10M	4	430	860	1700	3450	7000
5M	7	730	1450	2950	5900	11500
VGA	98	9600	19000	38500	40000	40000
16:9（12M）	3	355	710	1400	2850	5700
16:9（2M）	21	2100	4250	8600	17000	34500

ご注意

- 静止画の記録可能枚数が9999枚より多いときは、「>9999」と表示されます。
- 他機で撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。

動画

動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。

（単位：時：分：秒）

容量 / 画質/サイズ	本機でフォーマットしたメモリーカード				
	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
AVC HD 24M (FX)	10分 (10分)	20分 (20分)	40分 (40分)	1時間30分 (1時間30分)	3時間 (3時間)
AVC HD 17M (FH)	10分 (10分)	30分 (30分)	1時間 (1時間)	2時間 (2時間)	4時間5分 (4時間5分)
AVC HD 9M (HQ)	25分 (15分)	50分 (40分)	1時間45分 (1時間20分)	3時間35分 (2時間45分)	7時間20分 (5時間30分)
MP4 12M	15分	40分	1時間20分	2時間45分	5時間30分
MP4 6M	35分	1時間15分	2時間40分	5時間20分	10時間50分
MP4 3M	1時間10分	2時間25分	4時間55分	9時間55分	20時間

( )内は最低記録時間です。

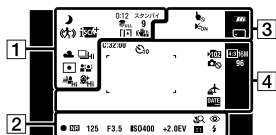
- 連続撮影可能時間は1回の撮影で約29分です。また、MP4時は1つの動画ファイルの最大サイズは約2GBまでです。

ご注意

- 内蔵メモリーには動画は撮影できません。
- 撮影シーンに合わせて動画の画質を自動調節するVBR（Variable Bit Rate)方式を採用しているため記録時間が変動します。
  動きの速い映像を記録する場合、メモリーの容量を多めに使用してより鮮明な画像を記録しますが、その分記録時間は短くなります。
  また、撮影環境や被写体の状態、画質/画像サイズの設定によっても記録時間は変動します。

画面に表示されるアイコン一覧

画面には、カメラの状態を表すアイコンが出ます。撮影したモードによって、表示されるアイコンの位置が異なる場合があります。

撮影時のアイコン一覧

1

表示	意味
9	撮影可能枚数（デュアル記録）
	動画撮影シーン
	シーン認識マーク
	手ブレ警告
	目つぶり検出
	おまかせシーン認識
	プレミアムおまかせオート時の重ね合わせ設定表示
録画 スタンバイ	動画撮影/スタンバイ
0:12	記録時間（分：秒）
	顔検出
	色合い（ホワイトバランス）
	測光モード
	ぼかし効果
	美肌効果
	連写設定
	温度上昇警告
	管理ファイルフル警告/管理ファイルエラー警告

2

表示	意味
●	AE/AFロック
ISO400	ISO感度
	NRスローシャッター
125	シャッタースピード
F3.5	絞り値
+2.0EV	明るさ（EV補正）
	フォーカス
	拡大鏡モード
	フラッシュモード

	赤目軽減
	フラッシュ充電中
	風音低減

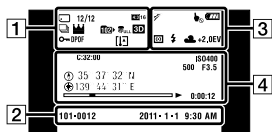
3

表示	意味
	バッテリー残量
	バッテリー残量なし
	タッチパネル無効
×1.4 S P	ズーム
キャプチャー	キャプチャー
	記録メディア（メモリーカード、内蔵メモリー）
OFF	Eye-Fi表示
ON	AF補助光

4

表示	意味
10 2	セルフタイマー
C:32:00	自己診断表示
100分	記録可能時間
102	記録フォルダ
	静止画撮影に関する警告
	訪問先
	AF測距枠
+	スポット測光照準
4:3 16M 4:3 10M 4:3 5M 4:3 2M 4:3 VGA 16:9 12M 16:9 3M 16:9 2M STD WIDE HR FX AVCHD FH AVCHD HQ AVCHD 1080 MP4 720 MP4 VGA MP4	画像サイズ/パノラマ画像サイズ/画質
96	記録可能枚数
DATE	日付書き込み

再生時のアイコン一覧

1

表示	意味
4:3 16M 4:3 10M 4:3 5M 4:3 2M 4:3 VGA 16:9 12M 16:9 3M 16:9 2M STD WIDE HR FX AVCHD FH AVCHD HQ AVCHD 1080 MP4 720 MP4 VGA MP4	画像サイズ/パノラマ画像サイズ/画質
	連写画像
	連写代表画像
	プロテクト
DPOF	プリント予約
×2.0	再生ズーム
	再生メディア（メモリーカード、内蔵メモリー）
OFF	Eye-Fi表示
3D	3D画像
102	再生フォルダ
12/12	画像番号/日付内・再生フォルダ内画像枚数
FULL ERROR	管理ファイルフル警告/管理ファイルエラー警告
	温度上昇警告

2

表示	意味
101-0012	フォルダ-ファイル番号
2011-1-1 9:30 AM	画像の記録日時

3

表示	意味
	バッテリー残量
	バッテリー残量なし
	TransferJet設定
	測光モード
	フラッシュモード
WB WB 1 WB 2	色合い（ホワイトバランス）
+2.0EV	明るさ（EV補正）

4

表示	意味
500	シャッタースピード
F3.5	絞り値
ISO400	ISO感度
C:32:00	自己診断表示

35°37'32"N 139°44'31"E	緯度・経度表示
►	再生
►► 1	変速再生
▬▬▬▭	再生バー
00:00:12	カウンター
(方位アイコン)	方位
(GPSアイコン)	GPS情報
(音量アイコン)	音量

カメラ内ガイドについて

本機はカメラ内に使いかたの情報を収録し、「知りたいこと」、「したいこと」をその場で探すことができます。
また、確認した後は、そのモードを実際に使ってみることもできます。

1 ?（カメラ内ガイド）をタッチする。

- 再生時は画面右下に?が表示されます。
- ガイドの項目画面が表示されます。

2 選択したいガイドの検索方法をタッチする。

撮る/見るガイド：撮影モードごとに、操作可能な機能について調べる。

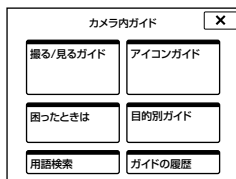
アイコンガイド：現在表示されているアイコンの機能、意味を調べる。

困ったときは：よくあるお問い合わせとその対処方法を調べる。

目的別ガイド：「したいこと」から検索して、その機能を調べる。

用語検索：キーワードから検索して、その機能を調べる。

ガイドの履歴：これまで見たガイド履歴を10件表示する。

ここでは[撮る/見るガイド]で説明します。

3 希望のモードをタッチする。

- そのモードでできる機能が表示されます。
- ガイドを見たい場合は、[詳しく見る]をタッチしてください。

4 知りたいガイドをタッチする。

操作方法が表示されます。

5 画面をなぞりながら概要、操作方法、詳細を見る。

- [使ってみる]が表示されている場合、選ぶと実際にそのモードに切り替わる。
- 終了するときは、×をタッチする。

ご注意

- かんたんモード中は、?(カメラ内ガイド)は無効になります。
- [使ってみる]が利用できない機能もあります。
- 機能によっては、操作方法、詳細項目が無いものがあります。

もっと詳しく知りたい（サイバーショットユーザーガイド）

「サイバーショットユーザーガイド」は、CD-ROM（付属）に収録されています。さらに詳しい説明を知りたいときに、ご覧ください。

Windowsをお使いの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

2 [ユーザーガイド]をクリックする。

3 [インストール]をクリックする。

4 デスクトップ上のショートカットから起動する。

Macintoshをお使いの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

2 [User Guide]を選び、[User Guide]フォルダ内の[jp]フォルダをパソコンにコピーする。

3 コピーが完了したら、[jp]フォルダ内の“index.html”をダブルクリックする。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ **以下の項目をチェックする。また、「サイバーショットユーザーガイド（HTML）」も参照し、本機を点検する。**

画面に「C/E：□□：□□」のような表示が出たときは、「サイバーショットユーザーガイド」をご覧ください。

❷ **バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。**

❸ **設定リセットをする（70ページ）。**

❹ **サイバーショットオフィシャルWEBサイトで確認する。**

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

❺ **ソニーの相談窓口に電話で問い合わせる（裏表紙）。**

- **内蔵メモリーやBGM機能を搭載した機種を修理に出した場合、それらの内容を確認させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。**

その他

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリーの向きを確認し、取りはずしつまみがロックするまで挿入してください（14ページ）。

電源が入らない。

- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください(14ページ)。
- バッテリーが消耗しています。充電してください(14ページ)。
- バッテリーの端子部が汚れています。柔らかい布などで軽く拭いて汚れを落としてください。
- NP-BN1タイプのバッテリーかご確認ください。

電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために、自動的に電源が切れることがあります。この場合は、電源が切れる前に画面にメッセージが表示されます。
- [パワーセーブ]設定が[標準]または[スタミナ]のときに、操作しない状態が一定時間続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高い、または低いところで使用しているときの現象です。
- 残量表示と実際の残量にズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。ご使用状況によっては、表示にズレが生じることがあります。
- 使用回数や経年変化により、バッテリー容量は低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い上げください。

バッテリー充電中、本機の電源/充電ランプが点滅する。

- NP-BN1タイプのバッテリーかご確認ください。
- 長時間使用していないバッテリーを充電すると、本機の電源/充電ランプが点滅することがまれにあります。その場合はカメラからバッテリーを取り出し、入れなおしてください。

電源/充電ランプが消えて充電が終わっても、充電ができていない。

- 温度が極端に高い、または低いところで充電しているときの現象です。バッテリーの充電は周囲温度が10℃～ 30℃の環境で行ってください。

撮影

撮影できない。

- メモリーカードを挿入しているのに内蔵メモリーに記録されてしまうときは、メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- 内蔵メモリーまたはメモリーカードの空き容量を確認してください(72ページ)。いっぱいのときは、下記のいずれかを行ってください。
  – 不要な画像を削除してください(52ページ)。
  – メモリーカードを交換してください。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 動画撮影時は以下のメモリーカードをおすすめします。
  – "メモリースティックPRO デュオ" (Mark2)、"メモリースティックPRO-HG デュオ"
  – SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード(Class 4以上)
- デモモードを[切]にしてください。

再生

再生できない。

- メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了してください。
- パソコン内の画像を本体で再生するには「PMB」をご使用ください。

本機で画像を立体的に再生できない。

- [スイングマルチアングル]にして撮影した画像のみ、本機で立体的に見ることができます。
- 3D画像はJPEGファイルとMPOファイルから構成されています。パソコン上でどちらかのファイルを削除した場合、本機の機能が正しく動作しないことがあります。

使用上のご注意

使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所

持ち運びについて

ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や破損の原因になります。

お手入れについて

画面をきれいにする

画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、液晶クリーニングキット(別売)を使ってきれいにすることをおすすめします。

レンズをきれいにする

レンズに指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下はご使用にならないでください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類
- 上記が手についたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約－10 ℃～ 40 ℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起きたときは

バッテリーとメモリーカードを抜いて、バッテリー /メモリーカードカバーを開けたまま、くもりが取れるまで乾燥したところに置いてください。結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式バックアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切に関係なく保持するために充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

内蔵の充電式バックアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れて、電源を切ったまま24時間以上放置する。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

バッテリーについて

バッテリーの充電について

周囲の温度が10℃ ～ 30℃の環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- フラッシュ撮影、ズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消費が速くなります。
- 撮影には予定撮影時間の2 ～ 3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。
- バッテリーの端子部が汚れると、電源が入らなかったり、充電ができないなどの症状が出る場合があります。このような場合は柔らかい布や綿棒などで軽く拭いて汚れを落としてください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度充電して本機で使い切り、その後本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、スライドショー（48ページ）を再生して、電源が切れるまでそのままにしてください。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショート等を防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋などに入れて金属から離してください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをお買い上げください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境によってバッテリーごとに異なります。

対応バッテリーについて

NP-BN1（付属）は、Nタイプに対応したサイバーショットにのみ使用できます。

Eye-Fiカードについて

Eye-Fiカードはアメリカ、カナダ、日本、EUの一部の国で販売しています。（2010年12月現在）

- Eye-Fiカードに関するお問い合わせは、その製造者・販売者に直接ご確認ください。
- Eye-Fiカードはご購入された国のみで使用が認められています。使用する国の法律に従ってお使いください。

保証書とアフターサービス

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

“故障かな？と思ったら”の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときはソニーの相談窓口にご相談ください（裏表紙）。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後5年間保有しています。

修理をお受けになる前に

内蔵メモリーのバックアップをお取りください。

修理によってデータが消去または変更された場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

禁止

電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。
また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない

つづき

⚠警告 火災 感電 下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

フラッシュ、AF補助光などの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

長時間、同じ持ち方で使用しない。

使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態でいると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。

以下の場合は特にご注意いただき、三脚などをご利用ください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合。
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合。

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

油煙のあるところでは使わない

火災の原因になることがあります。

電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを、ぬれた手や、水滴のかかる場所、湿気、ほこり、湯気の多い場所で使わない

機器本体以外は防水/防塵仕様ではありません。

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

つづき

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を手で覆ったまま発光しないでください。発光後も発光部に手を触れないでください。やけどの原因となります。

レンズや画面に衝撃を与えない

レンズや画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや やけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

<table>
<tr><td>⚠危険</td><td>

- 乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。

</td><td>
禁止</td></tr>
<tr><td>⚠警告</td><td>

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。
- アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。
- 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。

</td><td>
禁止</td></tr>
<tr><td>⚠注意</td><td>

- 電池は、+、−を確かめ、正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出しておく。

</td><td>
指示</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="3">お願い</td><td>リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ち下さい。</td></tr>
<tr><td>
Li-ion
リチウムイオン電池</td></tr>
<tr><td>充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、
一般社団法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照して下さい。</td></tr>
</table>

その他

主な仕様

本体

[システム]

撮像素子：7.77 mm（1/2.3型）
Exmor R CMOSセンサー
総画素数：約1680万画素
カメラ有効画素数：約1620万画素
レンズ：カールツァイス バリオテッサー
4倍ズームレンズ
f=4.43 mm ～ 17.7 mm
（25 mm ～ 100 mm（35 mmフィルム換算値））、F3.5（W）～ F4.6（T）
動画撮影時（16：9）：27 mm ～ 108 mm
動画撮影時（4：3）：33 mm ～ 132 mm
手ブレ補正：光学式
露出制御：自動、シーンセレクション（16 モード）
ホワイトバランス：オート、太陽光、曇天、蛍光灯1、2、3、電球、フラッシュ、ワンプッシュ
水中ホワイトバランス：オート、水中1、2
信号方式：NTSCカラー、EIA標準方式
記録方式：
静止画記録方式：
JPEG（DCF Ver.2.0、Exif Ver.2.3、MPF Baseline）準拠、DPOF対応
3D静止画記録方式：MPO（MPF Extended（立体視））準拠
動画記録方式（AVCHD方式）：
AVCHD規格
映像：MPEG-4 AVC/H.264
音声：Dolby Digital 2ch
ドルビーデジタルステレオクリエーター搭載

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

動画記録方式（MP4方式）：
映像：MPEG-4 AVC/H.264
音声：MPEG-4 AAC-LC 2ch
記録メディア：内蔵メモリー 約19 MB、“メモリースティック デュオ”、SDカード
フラッシュ：撮影範囲（ISO感度（推奨露光指数）がオートのとき）
約0.08 m～ 3.7 m（W）/約0.5 m～ 2.7 m（T）

[入出力端子]

HDMI端子：HDMIミニ端子
マルチ端子：
Type3b（AV出力/USB/DC-in）
映像出力
音声出力（ステレオ）
USB通信
USB通信：Hi-Speed USB（USB 2.0）

[画面]

パネル：
ワイド（16:9）、7.5 cm（3.0型）、TFT駆動
総ドット数：
921 600（1 920 × 480）ドット

[電源・その他]

電源：リチャージャブルバッテリーパックNP-BN1、3.6 V
ACアダプター AC-UB10/UB10B、5 V
消費電力（撮影時）：
1.0 W
動作温度：－10 ℃～ 40 ℃
保存温度：－20 ℃～ +60 ℃
外形寸法（CIPA準拠）：
95.6×56.1×17.9 mm
（幅×高さ×奥行き）
本体質量（CIPA準拠）（バッテリーNP-BN1、“メモリースティック デュオ”を含む）：
約133 g
マイクロホン：ステレオ
スピーカー：モノラル
Exif Print：対応
PRINT Image Matching III：対応
防水/防塵性能：JIS保護等級 IP58相当（水深5 m、連続60分間の水中撮影が可能）
耐衝撃性能：MIL-STD 810F Method 516.5-Shockに準拠して行った、1.5 mの高さから厚さ5 cmの合板上への単体落下テストをクリア
防水･防塵・耐衝撃性能は当社の試験基準によるものです。

ACアダプター AC-UB10/UB10B

定格入力：AC 100 V ～ 240 V、
50 Hz/60 Hz、70 mA
定格出力：DC 5 V、0.5 A
動作温度：0 ℃～ 40 ℃
保存温度：－20 ℃～ +60 ℃
外形寸法：約50 mm×22 mm×54 mm
（幅×高さ×奥行き）
本体質量：約48 g

リチャージャブルバッテリーパックNP-BN1

使用電池：リチウムイオン蓄電池
最大電圧：DC 4.2 V
公称電圧：DC 3.6 V
容量：2.3 Wh（630 mAh）

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- 以下はソニー株式会社の商標です。Cyber-shot、"サイバーショット"、"Memory Stick"、"メモリースティック"、MEMORY STICK ™、"Memory Stick PRO"、"メモリースティック PRO"、MEMORY STICK PRO、"Memory Stick Duo"、"メモリースティック デュオ"、MEMORY STICK DUO、"Memory Stick PRO Duo"、"メモリースティックPRO デュオ"、MEMORY STICK PRO DUO、"Memory Stick PRO-HG Duo"、"メモリースティックPRO-HG デュオ"、MEMORY STICK PRO-HG DUO、"メモリースティック マイクロ"、"MagicGate"、"マジックゲート"、MAGICGATE、"ブラビア"、"ブラビアプレミアムフォト"、DVDirect、TransferJet、TransferJetロゴ
- Blu-ray Disc™およびBlu-ray™はブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- AVCHDおよびAVCHDロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、DirectX、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の登録商標または商標です。
- Intel、Pentium、Intel CoreはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- MultiMediaCardは、MultiMediaCard Associationの商標です。
- 「プレイステーション3」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品です。また PS 、"プレイステーション" および "PlayStation" は同社の登録商標です。
- Adobe、Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- OBEXは、Infrared Data Associationの登録商標です。
- Eye-FiはEye-Fi, Incの商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

- "Works with PlayStation®3" ロゴは、特定のPlayStation®3専用ソフトウェアと連携することで、さらなる楽しみを提供する製品につけるマークです。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

記号・数字順

■ 困ったときは（サポートのご案内）

ホームページで調べる

サイバーショットの最新サポート情報
（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカードなど）

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/

サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

付属ソフトウェアのサポート情報

http://www.sony.co.jp/support-disoft/

電話で問い合わせる（ソニーの相談窓口）

●使い方相談窓口

フリーダイヤル……0120-333-020
携帯・PHS・一部のIP電話……0466-31-2511

最初のガイダンスが流れている間に下記番号＋「＃」を押してください。
本機や付属品：「401」
付属ソフトウェア「PMB」：「404」
受付時間：月〜金 9:00 〜 18:00　土・日・祝日 9:00 〜 17:00

REPAIR

●修理相談窓口

フリーダイヤル……0120-222-330
携帯・PHS・一部のIP電話……0466-31-2531

最初のガイダンスが流れている間に「401」＋「＃」を押してください。
受付時間：月〜金 9:00 〜 20:00　土・日・祝日 9:00 〜 17:00
ホームページ　http://www.sony.co.jp/di-repair/
FAX（共通）：0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙 70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。